



大きな事業での 効果検証は

大野 則男 議員

一定の効果はあった

産業建設部長

している。核家族世帯、ひとり親家庭が増加している。また、合計特殊出生率が、国・県と比較して低い。公立保育所の老朽化が著しい。そして、私立保育所で他の市町村からの受け入れが、平成27年10月1日現在で14%であるといったようなことが策定の根拠だ。今後については、柔軟性、機動性のある施設運営を図るため、民間の活力を導入する。今回の基本方針の策定にあたっては、定められた手順に沿って策定をしたものだ。地域の説明会、保護者の説明会は、市の方針が固まっていないと不安と混乱を来すので、市の他の方針施策と同一の手順で実施する。

様々な大事業が行われてきたが、基本は安価で、

最大の効果を求めていかなければならない。一つ

目、勝幡駅整備の効果と

将来構想は。

産業建設部長 事業完了

に当たり一定の効果があつたが、乗降客数の増加は十分ではなかった。踏切拡張による安全対策、駅舎のバリアフリー化、稲沢市のコミュニティバスの乗り入れなど、交通の利便さが向上した。総合的な事業効果を出すための新たな事業

は考えていない。

企業誘致で問題が生じた場合、どう対処するのか。

産業建設部長 市役所の中

でもどこの課になるか、企業誘致課になるのか、まだ決まっていない。様々な問題については、企業に迷惑をかけないように考える。

「企業に迷惑をかけるように考える」は納得できない。市民は企業を選べない。企業は納得して、来るわけではないのか。

市長 一番大事なものは、

地元の方々、周辺の方々の生活だ。そこを我々はしっかりと肝に銘じていく。

斎場建設は、市民にとつてよかつた事業と思うがどうか。また、現状の問題は。

市民協働部長 立田・八開地区の方は、市外斎場

を利用する場合には、火葬時間に制限があつた。自宅での葬儀も少なくなり、斎場とともに式場を併設することで、利便性の向上が図られた。現状

の問題は、車寄せの舗装

部分と建物との間に段差と亀裂が生じていることだ。

公立保育所の今後は

保育所等基本方針検討

委員会第4回で方針が可決決定された。パブリック

コメントの賛成の意見だけで、方針決定して良いのか。保護者、近隣住民に真っ先に意見を聞くべきではないのか。

健康福祉部長 人口減少、少子・高齢化が進行

している。



▲廃園予定の佐屋北保育園